

金泰煥（キム・テファン）元韓日議員連盟会長代行への勲章授与式における長嶺大使の挨拶

皆さん、こんにちは。本日は大変おめでたい行事にご出席されるために、ここ日本大使公邸にいらしていただきありがとうございます。

元韓日議員連盟会長代行、韓日親善協会理事長兼副会長であられる金泰煥（キム・テファン）先生が、この春の外国人叙勲におきまして、長年にわたる日韓関係への御功績により、旭日中綬章を受章されました。ここに心よりお祝い申し上げます。本日は、金泰煥（キム・テファン）先生ご夫妻をお招きして、勲章伝達式を執り行えますことを、大変光栄に存じます。

また、本日は、金守漢（キム・スン）韓日親善協会会長、柳興洙（ユ・フンス）同会長代行、徐清源（ソ・ジョンウォン）韓日議連前会長、文喜相（ムン・ヒサン）同元会長を初めとする韓国側関係者の方々、そして今日のこの行事のために日本より駆けつけられました河村健夫日韓議連幹事長を初め武田良太、長崎幸太郎両衆議院議員そして日韓関係にゆかりの深い皆様方がここに集われました。皆様と共に、金泰煥（キム・テファン）先生の叙勲のお祝いを催すことができ、誠に嬉しく存じます。

金泰煥（キム・テファン）先生は、韓国政界有数の日本通として、長年にわたり日韓関係発展に尽力されました。特に日韓関係が50周年を目前にしながら停滞を続けた時期には、韓日議連会長代行として奔走され、開催の途絶えた議連合同総会の再開のために御尽力されました。先生は、日韓関係を取り巻く空気が厳しいときにも「対話によってのみ危機は克服することができる」との信念を通され、関係改善への突破口を作るために、献身されたのであります。

金泰煥（キム・テファン）先生の日本との絆は、1965年に延世大学を卒業後、ビジネスの世界に入られた時から始まりました。日本・韓国の企業で日韓経済関係の増進に寄与され、多くの日本の友人をお作りになりました。2004年からは、お兄さんである金潤煥（キム・ユン）先生のご遺志を引き継いで政界に入られ、国政の幅広い分野でご活躍される中で、韓日議連首席副幹事長、同会長代行を歴任されながら、日韓関係の増進に深く関与されたわけです。

このように金泰煥(キム・テファン)先生の日韓友好の増進への歩みは、50年以上の年月にわたります。このような功績を認め、この度日本から荣誉ある勲章を授与することができますことは、私どもの心からの喜びであります。

韓国に於いて新たに文在寅(ムン・ジェイン)大統領が就任され、両国関係の新たなページがめくられました。私たちは、これからより一層緊密な日韓関係を築いて行くために手を携えて努力する必要があります。金泰煥(キム・テファン)先生におかれましては、引き続き、私共に対しご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

改めまして、この度の金泰煥(キム・テファン)先生に対する叙勲を心からお祝い申し上げます、先生ご夫妻の益々のご健勝をお祈り申し上げます。併せて、本日もご臨席の皆様方のご健勝、日韓関係の更なる発展を祈念し、私からのお祝いの挨拶とさせていただきます。

2017年6月30日
大韓民国駐劔日本国特命全権大使
長嶺 安政